

ウミショウブ

げつめつきく
絶滅危惧II



学名	Enhalus acoroides
科名	トチカガミ
別名	
区分	草本類
分布	おきなわ たいへいよう せいなんがん 沖縄、太平洋、インド洋沿岸の ねったい ちいき 熱帯・亜熱帯地域

は かたち せんけい
葉の形 線形

は ぶち なみがた
葉の縁 波形

は さき
葉の先

は しゆるい
葉の種類

は つまかた
葉の付方

は きぶ
葉の基部

み しゆるい
実の種類

はな がくいろ しろいろ
花・萼色 白色

せつ
説
めい
明

いりえ あさ かいてい すな うえ は た ねんせい そうほん
入江の浅い海底の砂の上に生える多年性の草本で
す。は じょう なが はば りようほう
葉はリボン状で長さ 50-150 cm、幅 1-2 cm、両方
の縁に太くて堅い脈があります。おぼな ほうしょう ようえき
雄花の苞鞘は葉腋
から出る長さ 5-10 cm の柄の上につきますが海面には
で なが え うえ かいめん
出ません。苞鞘の中には白色の雄花が数十個入って
おり、開花時には海面に浮き上がります。めいしゅう かい
雌雄異株で、
なつ おおしお ひ ちゅうしん かい か
夏の大潮の日を中心に開花します。